

日本ヒープ協議会について

2022. 9. 15

一般社団法人 日本ヒープ協議会

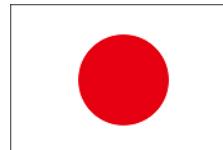


日本ヒープ協議会について

1923年



1978年



Home Economists In Business
(企業内家政学士)

日本ヒープ協議会設立

生活者と企業の双方を理解し、新しい価値を創造・
提案することで生活者の利益および企業の健全な
発展に寄与することを使命とし、活動する会

ご支援いただいている賛助企業様（50音順）



アサヒビール(株)



アフラック生命保険(株)

ANDERSEN
Institute of Bread & Life



花王(株)



カゴメ(株)

一般社団法人
株主と会社と社会の和
ESG Network of Shareholders & Companies

(一社)株主と会社と社会の和



企業組合東京セールスレップ

よろこびがつなぐ世界へ
KIRIN

キリンホールディングス(株)

あつたら
いいな
をカタチにする
小林製薬
小林製薬(株)

SUNSTAR

サンスター(株)

SUNTORY

サントリーホールディングス(株)

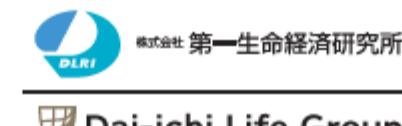
SHISEIDO

資生堂ジャパン(株)

ご支援いただいている賛助企業様（50音順）

 公益財団法人 生命保険文化センター

(公財)生命保険文化センター



(株)第一生命経済研究所

一生涯のパートナー

第一生命



第一生命保険(株)



(株)トライローグ



(株)日清製粉グループ本社



(株)ニップン



日本ハム(株)



日本生命保険(相)



富国生命保険(相)



(株)Mizkan



明治安田生命保険(相)



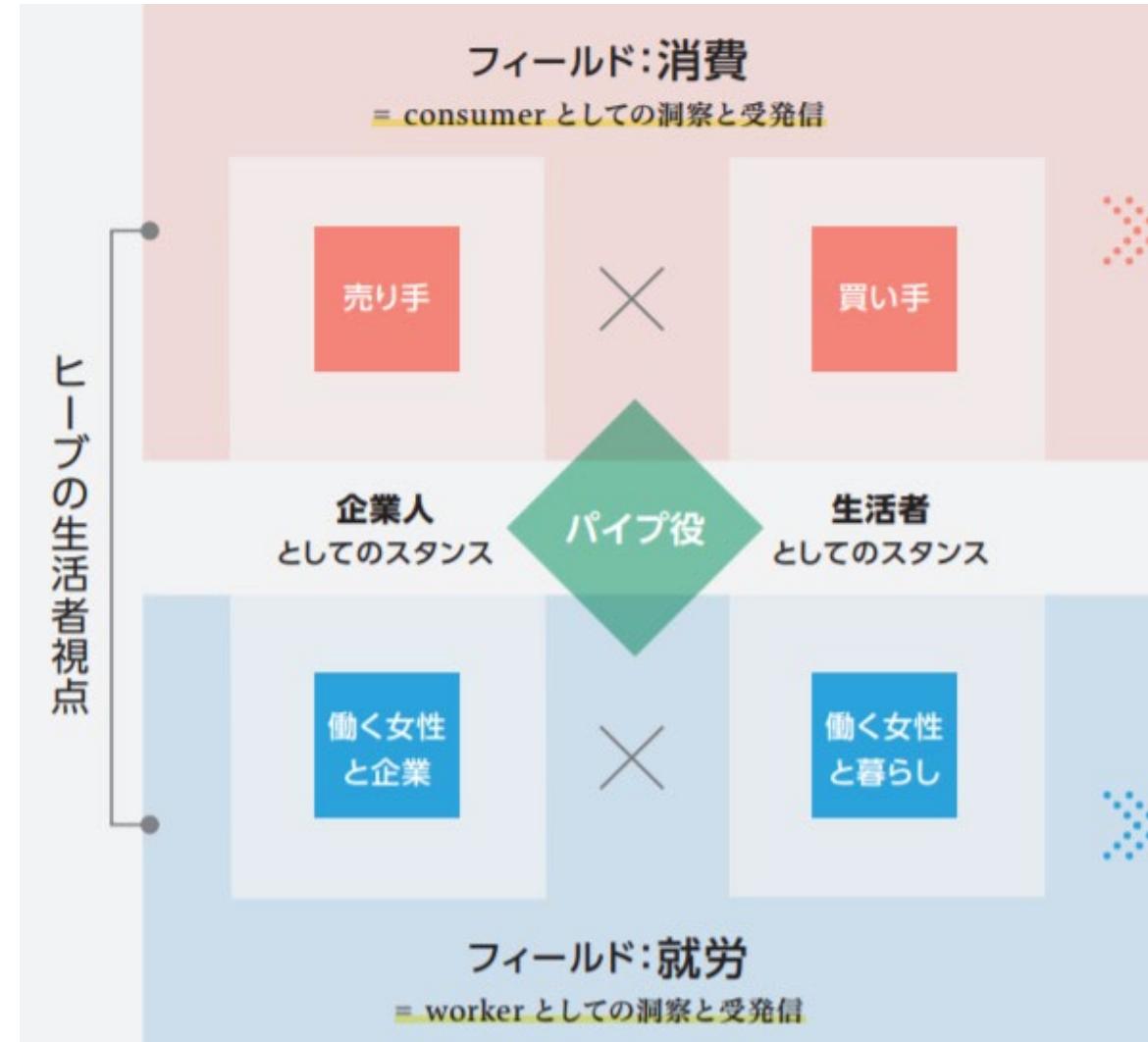
森永乳業(株)



ライオン(株)

日本ヒーブ協議会について

消費者関連部門などで働く女性が「生活者と企業のパイプ役」として、
生活者と企業の双方の視点を持ち、企業・社会で活動



「お客様の声を活かした取り組み55事例」

(2013年 日本ヒープ協議会35周年記念)



- 企業はお客様の声を活かして取り組みをしているが、生活者には伝わっていないケースが多いことから、異業種企業団体の特性を活用して冊子にまとめて、生活者・企業の協働の重要性を伝えました。
- 企業がお客様の声から生活者のライフスタイルや社会の変化を捉え、商品・サービスの改善や開発に活かした事例を紹介



「超高齢社会における企業の消費者対応」

(2015年度 日本ヒーブ協議会～お客様の声を活かした取り組み33事例～)

企業の対応の19社33の事例を収集して
7カテゴリーで掲載



例) 安心・サポート

株式会社ヤクルト本社
■設立年月日：1955年4月9日
■業種：食品、化粧品、医薬品等の製造・販売

一人暮らしの高齢者の安否を確認

ヤクルトレディが一人暮らしの高齢者の安否を確認したり、話し相手になる『愛の訪問活動』を地域の自治体と協力しながら実施しています。

■始めたきっかけ

この活動は、福島県郡山市の人々のヤクルトレディが自分の担当する地域の中で、一人暮らしの高齢者が誰にも看取られずに亡くなったことに胸を痛め、独り暮らしの高齢者に自費で「ヤクルト」をお届けするという自発的な行為から始まった。

■対応内容

- 『愛の訪問活動』は、ヤクルトレディが商品をお届けしながら、一人暮らしの高齢者の安否を確認したり、話し相手になるという社会貢献活動で、1972年から続けている。
- 当初は、一人のヤクルトレディの自発的な活動だったが、販売会社や地域の民生委員が共鳴し、さらに自治体をも動かして、全国的に広がった。
- 2015年3月現在、全国142の自治体などから要請を受け、4万5千人を超える高齢者のお宅を訪問している。


1972年から続けている
ヤクルトレディの『愛の訪問活動』

■工夫した点

『愛の訪問活動』だけでなく、全国の自治体、警察などと連携して、地域の見守り、安全・安心へのお手伝いをしている。

■成果

- 『愛の訪問活動』は、ボランティア活動に携わる方々や行政からも高い評価を得た。
- 1991年、経済広報センターから「優秀企業広報特別賞」を受賞。
- 1994年、「ボランティア功労賞」として厚生大臣(当時)の表彰を受賞。

生活者と企業の関係は、かつての「企業VS生活者」として相対していた関係から「社会課題を視野に入れ同じ方向を向いて共に創る新しい関係性」へと大きく変化。40周年を機にヒーブが描いた10年後は、「生活者視点」を中心とした生活者と企業と行政との新たな三位一体のダイナミックな関係。



【生活者】自律的な幸福へ

- ・生涯の学びと貢献
- ・多様なコミュニティとの繋がり

生活者

企 業

中心は
「生活者視点」

行 政

【行政】生活者と企業のダイナミックな 新しい関係を支援

- ・と共に将来を描き政策に反映

2028

【企業】健全かつ持続的発展へ

- ・イノベーションを生む
- ・選ばれる企業になる

「生活者が変わる」「生活者と企業の“境が溶け
る”」社会の中で、「生活者と企業のダイナミックな
新しい関係」を先導するヒーブはNext Stageを進
行中。

日本ヒープ協議会について



ヒープのパーサス (ヒープがめざす Well-being 社会)

Weでつくる幸せシナジー ~誰もが自分らしさを發揮して混じり合い 生活者視点の価値を生みだす社会へ

日本ヒープ協議会がめざすビジョン：
=ドリーム

“幸せ”価値共創チーム

日本ヒープ協議会の役割：
ヒープの役割の実践力強化&発信

日本ヒープ協議会のミッション：
ヒープをネットワークし
活動を通じて切磋琢磨できるように図り
その成果を企業内活動、あるいは社会へと発信していくこと

日本ヒープ協議会のバリュー(行動するときに大切にしたい価値観)
=ビリーフ

- 素のまま多様を喜ぼう…違いを喜び本音で共創する場を創ろう
- 起点となろう…本質をみて将来をデザインしみんなを巻き込み共に創ろう
- 信頼を構築しよう…互いに人として尊重しオープンにフラットに繋がろう
- ワクをこわそう…思い込みを手放し柔軟にチャレンジしよう
- 常に学び進化しよう…変化を機会とし実践から学習し進化しよう

ヒープがめざすビジョン：
=ドリーム

“幸せ”価値共創者

ヒープの役割：
①生活者と新しい価値を共に創る
②進化する幸せ組織の起点となる

ヒープのミッション：
生活者と企業の双方を理解し
新しい価値を創造・提供することで
生活者の利益および企業の健全な発展に寄与

ヒープのバリュー(行動するときに大切にしたい価値観)
=ビリーフ

日本ヒーブ協議会について

ヒーブのパーザス・北極星★

Weでつくる幸せシナジー

～誰もが自分らしさを發揮して混じりあい
生活者視点の価値を生みだす社会へ

40年一貫したヒーブの強み

ヒーブ視点=生活者視点+経営視点



「生活者視点」
in business

<ヒーブの役割>

- ①生活者と新しい価値を共に創る
- ②進化する幸せ組織の起点になる

日本ヒーブ協議会について

40年一貫したヒーブの強み

ヒーブ視点=生活者視点+経営視点

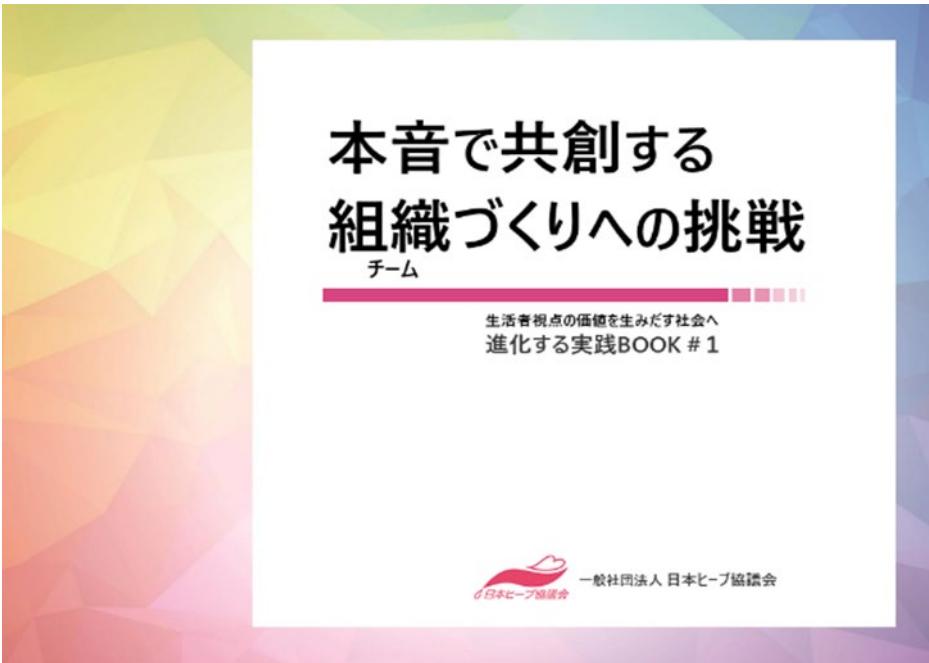


「生活者視点」
in business

<ヒーブの役割>

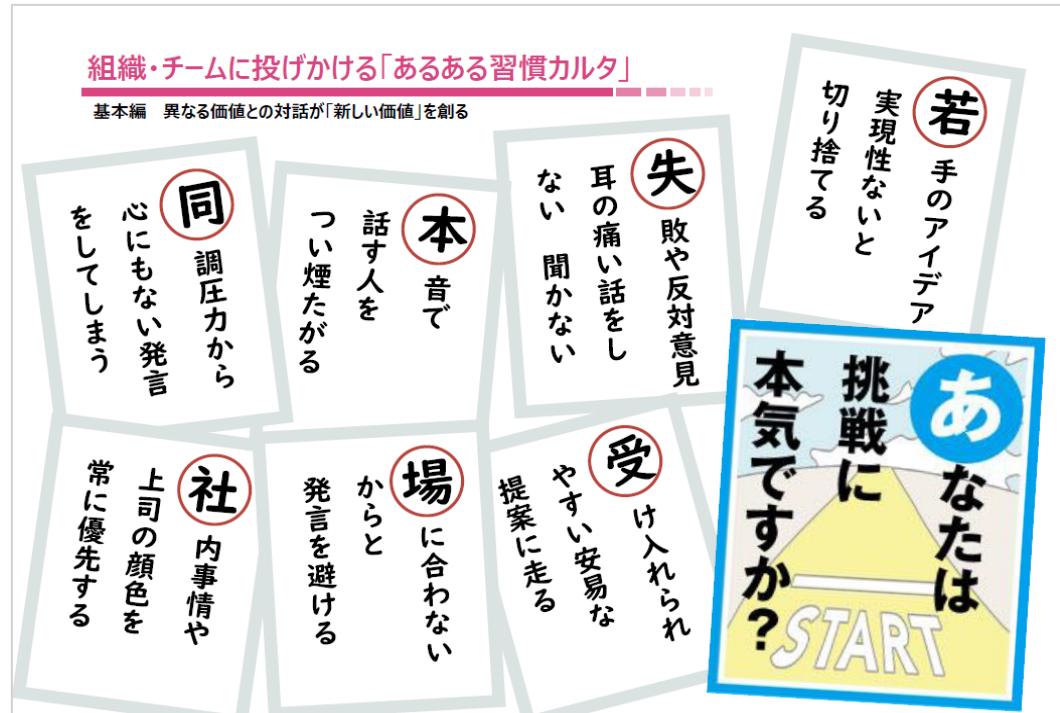
- ①生活者と新しい価値を共に創る
- ②進化する幸せ組織の起点になる

進化する幸せ組織の起点になる



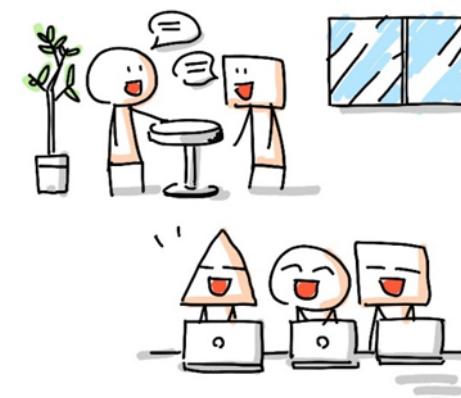
©Daiuke Motozono

進化する幸せ組織の起点になる



意見を出しやすくする、ちょっとしたルール

- ・資料は事前配布。同じ情報を持ってミーティングに臨めるようにする。
- ・今日の一言など、アイスブレイクから開始する。
- ・五十音順、誕生日順など発言の順番を工夫して、全員が発言するようにする。
- ・発言時間を一人何分と決め、その間は口を挟まず、最後まで聞く。



©Daiuke Motozono

日本ヒーブ協議会について

40年一貫したヒーブの強み

ヒーブ視点=生活者視点+経営視点



「生活者視点」
in business

<ヒーブの役割>

- ①生活者と新しい価値を共に創る
- ②進化する幸せ組織の起点になる

生活者と新しい価値を共に創る



NEWS RELEASE

2022-8

一般社団法人 日本ヒープ協議会

生活者との新しい関係づくりを学ぶ、連続公開講演会

「生活者『を』から生活者『と』による価値創造」を開催！



©Daisuke Motozono

生活者と企業の双方を理解し、新しい価値の創造・提案を通じて生活者の利益及び企業の健全な発展への寄与を使命に活動する女性達の組織「日本ヒープ協議会」（所在地:東京都渋谷区、代表理事:中村尚美）は、「生活者『を』から生活者『と』による価値創造」と題する公開講演会を9月から3ヶ月にわたって開催します。生活者を調べて囲い込みを行うといった従来型の企業活動ではなく、生活者をパートナーとして「共に」活動を進めるための考え方や企業の実践例をうかがい、誰もが自分らしさを発揮して混じりあい生活者視点の価値を生みだす社会の実現をめざします。

今回の連続公開講演会は、広く会員以外の皆様にもご参加いただけます。

ご静聴ありがとうございました



一般社団法人 日本ヒーブ協議会